

三重県鋳工業生産及び生産者製品在庫の動き

1 概況

1 生産の動き

平成 20 年の県内鋳工業生産指数の年平均は 111.4(平成 17 年 = 100)で(年指数については、原指数によります。以下同じ。)対前年比 1.6%の低下となりました。四半期ごとの推移についてみると(四半期別指数については、季節調整済指数によります。以下同じ。)1 期 115.6(対前期比 1.3%減)、2 期 113.1(同 2.2%減)、3 期 112.4(同 0.6%減)、4 期 104.8(同 6.8%減)となりました(表 1、図 1)。

これを業種別に対前年比で見ると、情報通信機械工業 18.6%、輸送機械工業 1.9%、金属製品工業 0.1%とそれぞれ上昇しました。一方、電力・ガス事業 14.1%、電気機械工業 13.0%、木材・木製品工業 12.8%、その他製品工業 11.7%、家具工業 10.4%、食料品工業 9.3%、鉄鋼業 7.2%、繊維工業 7.1%、プラスチック製品工業 5.4%、ゴム製品工業 3.0%、石油・石炭製品工業 3.0%、一般機械工業 2.1%、窯業・土石製品工業 2.1%、パルプ・紙・紙加工品工業 1.5%、非鉄金属工業 0.9%、鋳業 0.8%、電子部品・デバイス工業 0.6%、化学工業 0.7%とそれぞれ低下しました。(表 3)

また、財別に対前年比で見ると、耐久消費財は 7.3%と上昇しましたが、それ以外の財はすべて低下となり、資本財 8.2%、非耐久消費財 5.4%、建設財 3.9%、その他用生産財 3.0%、鋳工業用生産財 2.3%となりました。(表 4)

2 生産者製品在庫の動き

平成 20 年の県内鋳工業生産者製品在庫指数(以下「在庫指数」とします。)の年平均は、112.8(平成 17 年 = 100)で、対前年比 8.7%の低下となりました。四半期ごとの推移についてみると、1 期 114.0(対前期比 9.0%)、2 期 105.0(同 7.9%)、3 期 110.0(同 4.8%増)、4 期 122.1(同 11.0%増)となりました。(表 2、図 1)

これを業種別に対前年比で見ると、家具工業 80.1%、一般機械工業 35.5%、食料品工業 27.2%、非鉄金属工業 21.8%、鋳業 17.7%、その他製品工業 13.3%、化学工業 9.4%、石油・石炭製品工業 5.2%とそれぞれ上昇しました。一方、輸送機械工業 58.2%、金属製品工業 24.4%、パルプ・紙・紙加工品工業 20.0%、電気機械工業(旧分類) 18.6%、プラスチック製品工業 13.1%、鉄鋼業 12.0%、繊維工業 11.8%、窯業・土石製品工業 7.7%、ゴム製品工業 5.0%、木材・木製品工業 2.6%とそれぞれ低下しました。(表 5)

また、財別に対前年比で見ると、非耐久消費財は 0.6%と上昇しましたが、それ以外の財はすべて低下となり、耐久消費財 30.7%、鋳工業用生産財 10.7%、その他用生産財 2.4%、資本財 1.3%、建設財 0.4%となりました。(表 6)